公益財団法人
ヤマハ発動機スポーツ振興財団
Yamaha Motor Foundation for Sports

タグラグビー×独自のルールとアイデアでみんな“体育好き”に！

臼杵市立市浜小学校（大分県臼杵市）

学校体育の球技における課題である「運動の得意・不得意の二極化」。その解消に向けて、体育専科教員である上山智之先生が取り組んだのが、タグラグビーの特性を生かしたいくつかの工夫です。
全員が活躍することで「楽しみ」「自信につながり」「体育が好きになる」そんな独自ルールやアイデアをご紹介します。

ゆるやかな独自ルール

①全員トライでボーナス点

同じ子ばかりがトライする

トライをしたら帽子を赤に。全員がボールに触れる機会を創出！

②ゴールラインを越えたらトライ

すべりこみトライは危険

グラウンディングしなくてOK！安心してトライに挑戦できる

③落としてた人が拾えばOK!

ボールを落とすと責められる

落としてもペナルティにはならないので、思いきりプレー可能

指導アイデア

自主性を育む

・授業冒頭で「今日の課題」を提示。考えながら授業に取り組ませる
・終わりに解決例を示す

チームワークが大事

・準備運動は、チーム単位で
・色分けでチームに連帯感を！

ボールの扱いに慣れる

・ボールの空気はやわらかめ
・ボールは卵と思ってやさしく
・パスは後ろを向いてから

経験値を増やす

・少人数で対戦しボールを持つ時間を長く
・1チーム6人を4人ずつ3回に分けてゲーム

効　果

体育専科教員
上山智之先生

◎得意な子どもが活躍しがちな球技だが、チームボーナス点を設定することで、協力して仲間がトライするため自然にチームプレーができるようになった。
◎運動が苦手な子もボールに触れる機会が増え自信をつけることで、「楽しい」「体育が好き」と感じ、積極的に活動するようになった。
◎自分たちで「今日の授業の課題」について実践・検証することで、考える力も育まれた。

タグを取るのが面白い！

仲間と力を合わせるのが楽しい♪